

News Clip & AV Material

◆ ニュースクリップ&映像教材



「Que voz feio (醜い声)」 山本 良浩
(C)山本 良浩

■平成23年度「第15回 文化庁メディア芸術祭 受賞作品展」

文化庁メディア芸術祭実行委員会（文化庁・国立新美術館他）による標記芸術祭は、このほど4部門で大賞を決定した（左は、アート部門大賞を受賞した山本良浩氏による「Que voz feio(醜い声)」）。受賞作品展は、平成24年2月22日（水）～3月4日（日）、国立新美術館（東京都港区六本木7-22-2）で開催される。入場無料。詳細は<http://plaza.bunka.go.jp/>を参照。

問い合わせ先（財）NHKインターナショナル内「文化庁メディア芸術祭事務局」フリーダイヤル 0120-309-100

文部科学省情報

■「国内のICT教育活用好事例の収集・普及・促進に関する調査研究事業—関東甲信越ブロック発表会—」

文部科学省主催による標記調査研究事業の発表会が、「21世紀にふさわしい学びと学校の創造を目指して—それぞれのNext Stageへ！—」を研究テーマに、下記の通り、開催される。

〈日時〉平成24年1月16日（月）10:00～16:15

〈会場〉千葉県総合教育センターメディア教育棟大ホール（千葉市美浜区若葉2-13）

〈内容〉公開授業、ICTポスターセッション、パネルディスカッション、機材・教材研究展示等。詳細は、下記を参照のこと。

http://www.eduict.jp/pdf/kanto_koshinetsu_annai.pdf

〈問い合わせ〉「国内のICT教育活用好事例の収集・普及・促進に関する調査研究」運営事務局

（財）日本視聴覚教育協会内

TEL 03-3591-2186

コンクール情報

■「第53回科学技術映像祭」作品募集

科学技術への関心を喚起し、その普及と向上を図るとともに、社会の科学技術教養の向上に資することを目的として、（公財）日本科学技術振興財団、（公社）映像文化製作者連盟、（財）つくば科学万博記念財団の主催による標記映像祭開催にあたり、参加作品の募集をしている。

〈部門〉①自然・くらし部門、②研究開発部門、③科学技術教養部門

〈参加作品〉DVDビデオ、ブルーレイビデオとし、そのまま再生できるもの。応募など、詳細は、下記を参照のこと。

<http://ppd.jsf.or.jp/filmfest/53/youkou.html>

〈参加申込期限〉平成24年1月25日（水）必着
〈賞〉内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞他。入選発表は、平成24年3月中旬を予定。

〈問い合わせ先〉（公社）映像文化製作者連盟

TEL 03-3662-0236

各地の情報

■ 電子黒板等ICTを活用した公開研究発表会

● 横浜市立高田小学校

〈研究テーマ〉「自らの考えを表現し、認め合い、高め合う子—ICTで『つなぐ』国語科授業の創造—」
 〈日時〉平成24年1月21日(土) 13:30～16:45
 (受付13:00～)

〈会場〉横浜市立高田小学校(横浜市港北区高田町1774)

〈内容〉授業公開、ワークショップ型事後検討会、パネルディスカッション等。詳細は、下記を参照のこと。
<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/takata/>

〈問い合わせ先〉横浜市立高田小学校

TEL 045-591-0700

● 山梨県甲斐市立双葉東小学校

〈研究テーマ〉『『豊かな心をもち、未来に向かって意欲的に学ぶ子どもの育成』—電子黒板を活用した授業・食育の実際・キャリア教育—』

〈日時〉平成24年1月27日(金) 13:30～16:45
 (受付13:00～)

〈会場〉山梨県甲斐市立双葉東小学校(山梨県甲斐市大笠2780)

〈内容〉電子黒板の効果的な活用、キャリア発達を促す資質の伸長、教科・領域における食育の実際等。詳細は、下記を参照のこと。

http://www.city-kai.ed.jp/fhsho/?page_id=963&preview=true

〈問い合わせ先〉山梨県甲斐市立双葉東小学校

TEL 0551-28-2014

■ 総務省「フューチャースクール推進事業」授業公開

● 長野県長野市立塩崎小学校 平成24年1月20日(金) <http://www.nagano-ngn.ed.jp/shiozajs/>

● 山形県寒河江市立高松小学校 平成24年1月25日(水) <http://academic3.plala.or.jp/takamatu/>

● 佐賀県佐賀市立西与賀小学校 平成24年1月25日(水) <http://www2.saga-ed.jp/school/edq10106/>

● 広島市立藤の木小学校 平成24年1月27日(金) <http://www.fujinoki-e.edu.city.hiroshima.jp/>

● 石川県河北郡内灘町立大根布小学校 平成24年2月3日(金) <http://cms1.ishikawa-c.ed.jp/~oonebe/NC2/htdocs/>

● 東京都葛飾区立本田小学校 平成24年2月22日(水) <http://www.katsushika.ed.jp/ehonden/>

文部科学省選定作品

■ 11月選定 〔紙〕紙しばい／〔ビ〕ビデオ／〔D〕DVD

特選「鉄釉陶器—原清のわざ」〔D〕39分〈小学校(高学年)、図画工作・中学校、美術・高等学校、美術・工芸／少年・青年・成人、教養・情操(美術)〉(株)桜映画社

「負傷した線路と月(小川未明 童話集 所収)」〔D〕15分〈小学校(中・高学年)、国語／少年・青年・成人、教養・情操(童話・寓話)〉(有)スタジオトゥインクル

「はなみず ちゆるる〜ん!」〔紙〕8枚〈少年、教養〉(株)童心社

「DX(ディスレクシア) な日々 美んちゃんの場合」〔D〕81分〈青年・成人、教養〉(有)イメージ・テン
 「『虎ハ眠ラズ』在日朝鮮人ハンセン病回復者 金泰九」〔D〕31分〈青年・成人、教養〉フルーク映像(株)
 「うまれる—教育版—」〔D〕90分〈成人、家庭生活(子育て)〉うまれるパートナーズLLP

放送番組

中学生日記

(金) 19:25～19:55 / Eテレ 全国

(土) 9:30～10:00 / 再放送 NHK総合 中部7県

(土) 12:30～13:00 / 再放送 Eテレ 全国
 (除く中部7県)

※都合により番組内容が変更となる場合があります。

■ 6日 アンコール「オオカミ少女—ウソっていけないこと—(後編)」

■ 13日 シリーズ夢 第1回 サロココワタ

■ 20日 シリーズ夢 第2回 ひとりぼっちの動物園(仮)

■ 27日 内容未定

短信

■ 公益社団法人映像文化製作者連盟は、平成23年12月17日より、下記へ事務局を移転した。

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町17-18
 藤和日本橋小網町ビル7F

TEL 03-3662-0236 FAX 03-3662-0238

▶ 文部科学省情報

被災地における情報通信技術を活用した学習支援について

文部科学省生涯学習政策局参事官（学習情報政策担当）付参事官補佐 妹尾 剛

東日本大震災は、東北地方の学校の校舎の損傷はもとより、避難所として地域住民の受け入れや児童生徒の転校を余儀なくしたことにより、被災地の児童生徒の学習の遅れなどをもたらしている。

また、被災した児童生徒を受け入れている学校においても、理科室、図書室等が普通教室に転用されるなど、学習活動の遅延や学習意欲の低下が懸念される。

さらに、被災地においては、教員自身も被災しているケースが多い中で、通常とは異なる授業環境や児童生徒の精神状態であるため、教員の負担は質的にも量的にも増大している。

このような被災地における児童生徒の学力低下の問題や教員負担の増大は極めて切実な問題であり、早急な解決策が必要であるため、情報通信技術を活用した学習支援等により児童生徒の学力の向上と教員の負担軽減を図るため、被災地において社会貢献活動に取り組む民間団体や被災地域の教育委員会等が連携し、以下の取り組みをパッケージで推進する。

① 電子教材（電子黒板等）の設置

応急仮設校舎等が偏狭などの理由により、被災前

の学校において授業で用いていた教材等を設置することができない場合に、電子教材の設置補助の申請が可能。

※公立学校施設災害復旧事業（電子教材等を設置する費用の補助を新設）

2/3国庫補助（設置者の標準税収入に応じて最高で96.7%まで嵩上げ）

② ICT支援員の養成

地域ボランティア等を対象に、授業等におけるICT活用等を支援するICT支援員の養成研修を実施し、学校現場へ配置。

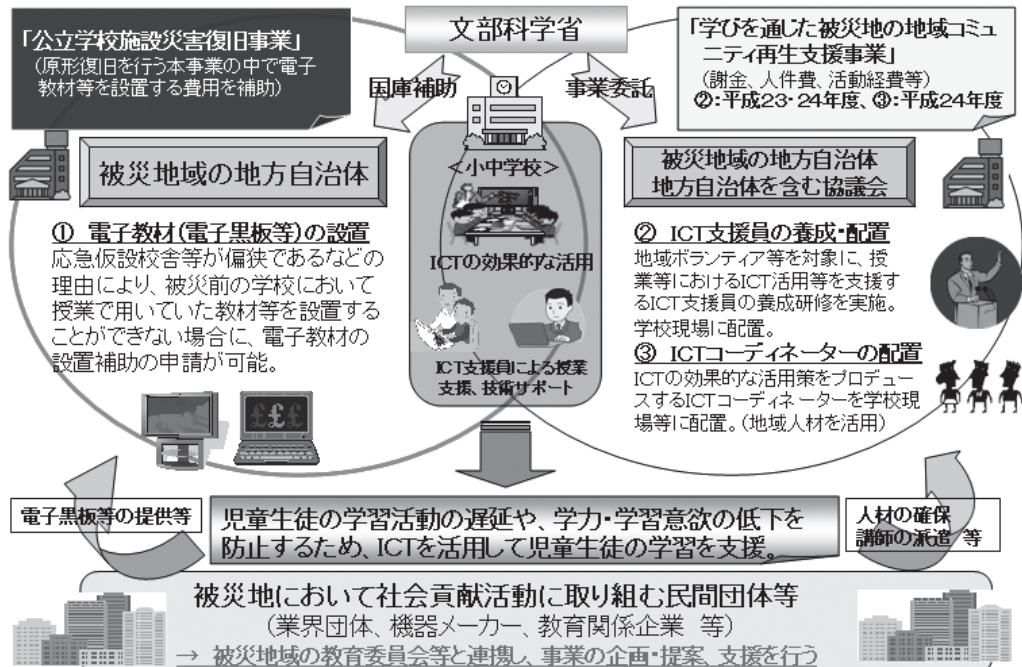
※学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業（文部科学省委託事業）

③ ICTコーディネーターの配置

ICTの効果的な活用策をプロデュースするICTコーディネーターを学校現場等へ配置。（地域人材を活用）

※学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業（文部科学省委託事業）

被災地における情報通信技術を活用した学習支援（イメージ）



トピックス

文部科学省主催「国内のICT教育活用好事例の収集・普及・促進に関する調査研究事業」 3地域ブロック発表会開催

標記調査研究事業の九州・沖縄、北海道・東北、関西の3地域ブロックにおける研究発表会が、昨年、12月下旬の通り、開催された。

○九州・沖縄ブロック研究発表会

12月2日（金）熊本県球磨郡山江村立山田小学校において、「ICTを効果的に活用した、思考力・判断力・表現力をはぐくむ授業展開の工夫」をテーマに開催された。

公開授業（2年国語・4年社会・6年家庭）、熊本県教育庁教育政策課指導主事 山本朋弘氏がアドバイザーを務め、北九州市立門司海青小学校、佐賀県佐賀市立西与賀小学校、長崎県諫早市立飯盛中学校、熊本県立天草養護学校、鹿児島県鹿児島市立山下小学校の代表により、実践報告が行われた。体育館では、ICT教材・機材メーカー23社による展示が行われた。九州・沖縄各県より、334名の教育関係者の参加者を得た。



実践報告会場の様子



機材の説明を受ける参加者

○北海道・東北ブロック研究発表会

12月9日（金）仙台市立愛子小学校において、「1121人の表現力 表現力が身につく愛子式授業—101の授業技術をめざして—」を研究テーマに開催された。

22の電子黒板やタブレットPCなどICTを活用した公開授業（1年～6年・特別支援学級の国語、社会、算数、理科、生活、道徳、図画工作、外国語活動）、東北学院大学准教授稲垣忠氏を指導助言者に迎え、ICT教育活用好事例発表等が行われた。

多目的室では、22社により、ICT機器展示会も開催された。北海道・東北各県より、515名の教育関係者の参加を得た。



好事例発表会場の様子



公開授業（小学校5年・算数）

○関西ブロック研究発表会

12月9日（金）和歌山県和歌山市立有功東小学校において、「『子どもが主体的に学び、学び合う授業の創造』—普段着のICT活用」を研究テーマに開催された。

公開授業（1年～6年の国語、算数、理科、体育、総合的な学習の時間）、研究協議、常葉学園大学准教授吉田広毅氏による講演、堺市立深井西小学校・京都府亀岡市立南つつじヶ丘小学校の実践発表、電子黒板を活用した模擬授業等が行われた。体育館内の教材・機材研究コーナーでは、22社により、関連の教材・機材の展示も開催された。関西各県より、224名の教育関係者の参加を得た。



展示会場の様子



公開授業（小学校2年・体育）